

施設整備の基本的な考え方

1. 最後のお別れの場にふさわしい施設

誰にでも訪れる人生の終焉、その最後のお別れの場にふさわしいやすらぎと品位を持った施設づくりを進めます。

2. 故人を偲び、悲しみを癒し、慈しみを感ずる施設

大切な人を偲び、送る場としてお別れの悲しみに対する癒しと、悲しみを乗り越えていこうとする慈しみを与える施設づくりを進めます。
会葬者の動線及び諸室の配置等を考慮し、プライバシーを確保した施設づくりを進めます。

3. 人と環境にやさしく、誰からも愛され大切にされる施設

周辺環境と調和し、地域に受け入れられるとともに、ランドスケープデザインの考え方を採り入れ、自然や景観と共生する施設づくりを進めます。

4. 将来の火葬需要に対応した施設

高齢化の進行に伴い、増加する火葬需要に対応できる施設、運営方式とします。

5. 維持管理費が低コストの施設

省エネ・省資源及び高耐久な構造体と内外仕上げ材の使用等、維持・管理費の削減を目指します。

6. 災害時にも対応可能な施設

災害に強い構造とするとともに、自家発電設備を設置し、停電時でも一定期間は火葬を行うことができる施設とします。

設計コンセプト

地域の自然と風景に呼応する「悠久の丘」を創出します

—故郷の自然と風景に抱かれ、静かな時間が流れる、柔らかな大地に覆われた葬送の丘—

丘陵景観の形成 丘陵地の穏やかな地形と連続する景観形成の丘

周囲の景観に溶け込む起伏豊かな丘を創出し、建物と大地が連続する故郷の自然と風景と一体となったランドスケープとします。



大地と建築の融合 周囲の起伏と呼応するゆるやかな屋根形状

大屋根は丘の起伏に呼応するよう、軒先にゆるやかな曲線を取り入れて建物全体を優しく包み込み、会葬者をあたたかく迎え入れます。



自然環境の育成 故郷の自然と風景を創出し森の育成を図り、この地の風景を継承

丘陵地の起伏のある地形造形や季節感豊かな故郷の樹林構成を図り、故郷の風景に想いを刻むことができる環境づくりを行います。



配置計画

駐車場の明確な分離	動線計画	会葬者と管理者の分離	歩行者の安全	アプローチ道路
バスの待機場所を車寄せ周囲にまとめて確保し、運用のし易さや利用者の安全性に配慮します。 障がい者用の駐車場は本施設の東側に配置し体の不自由な利用者に配慮します。	車寄せや各駐車場へのアクセスは一方通行の計画とし、利用者に分かりやすく、事故防止に配慮した動線計画とします。	会葬者は敷地の西側、管理者は北側からのアクセスとすることで、利用者とバックヤードを明確に分離し、安全かつ会葬者の心情に配慮した計画とします。	歩行者路や横断歩道を設け、歩行者の安全に配慮します。また構内を回遊する歩行者路と休憩スポットにより、会葬者や墓地参拝者が利用できる憩いの空間とします。	敷地西側境界のレベルから駐車場レベルまでの段差処理はアプローチを長く取り、緩勾配とすることで、バスや霊柩車の運用に支障のない計画とします。



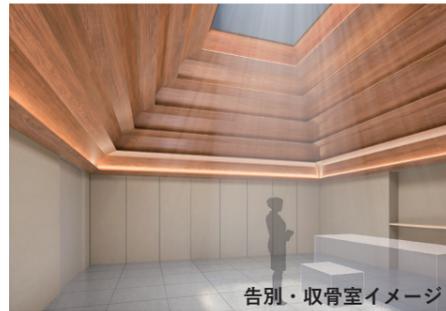
※本概要版の内容については、実施設計で変更になる場合があります。



鳥瞰イメージ



告别・収骨室前廊下イメージ



告别・収骨室イメージ



待合室イメージ

■ 平面計画

左右対称の平面計画

左右対称の平面計画として、2会葬同時受付時に会葬者同士の動線を分離し、プライバシーを確保した計画とします。

会葬者と職員エリアの明確な分離

会葬者エリアは南側、職員エリアは北側に集約配置することで、それぞれのエリアを分離し、落ち着いた気持ちで利用できる計画とします。

待合室

新斎場で新たに設置される待合室は、全て南に向けた配置とし、足元から全面ガラス貼りで周囲の緑を取り込んだ豊かな空間とします。

■ 外観計画

周囲の起伏と呼応するゆるやかな屋根形状

建物中央に向かって盛り上がった丘のような形状の大屋根で建物全体を包み込み、起伏のあるランドスケープとの連続性を感じられるデザインとします。

森に馴染む緑が映えるアースカラーの色彩計画

施設の色調は、緑が映え、落ち着きのあるアースカラー中心の色彩計画とします。

■ 内装計画

「最後の場」にふさわしい、静粛で厳かな空間

自然光をふんだんに取り入れ、木目調のシートとコンクリート等の落ち着いた内装とすることで、「最後の場」にふさわしい静粛で厳かな空間を目指します。

■ 災害対策

- ・十分な耐震性能を有する、災害に強い施設づくりを行います。
- ・自家発電機を設置することで、停電時においても機能が停止しないようにします。



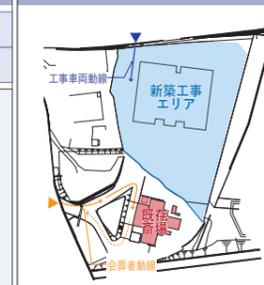
事業スケジュール(予定)

年	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
月	4	3	4	3

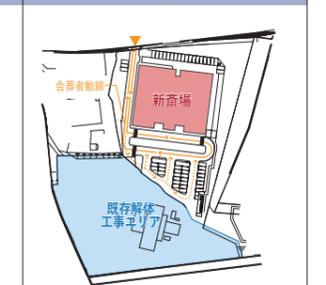
1期工事: 造成工事, 建物工事

2期工事: 新斎場建設期間, 供用開始(令和8年4月), 既存斎場解体期間

1期工事: 既存運用/新築工事



2期工事: 新築運用/既存解体



建物概要

所在地	大阪府岸和田市流木町1092番地の1	規模	地上2階建	人体炉	8基
敷地面積	14,016.52㎡	構造	RC造一部S造	動物炉	1基
用途	火葬場	外構	普通車 48台 障がい者用 2台 大型バス用 1台 マイクロバス用 6台 計 57台	告别・収骨室	4室
建築面積	約2,503.93㎡	駐車台数		待合ホール	1室
延床面積	約2,968.98㎡			待合室	6室
				多目的室	1室

位置図



※本概要版の内容については、実施設計で変更になる場合があります。